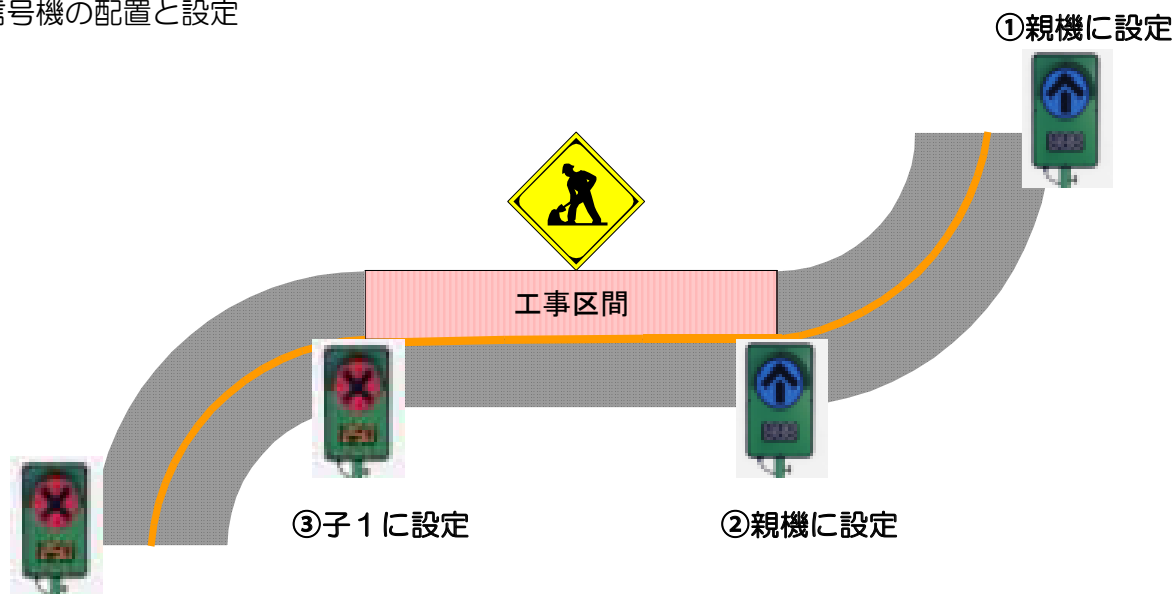


GPSソーラー式信号機の応用使用例

その1 予告信号機

カーブの現場などで信号機が見通しが悪い場合、工事区間の手前に信号機を置くと予告信号としてご使用出来ます。

- パターン番号 交交通行用1~40番を使用し、全て同じ番号に設定
- 信号機の配置と設定

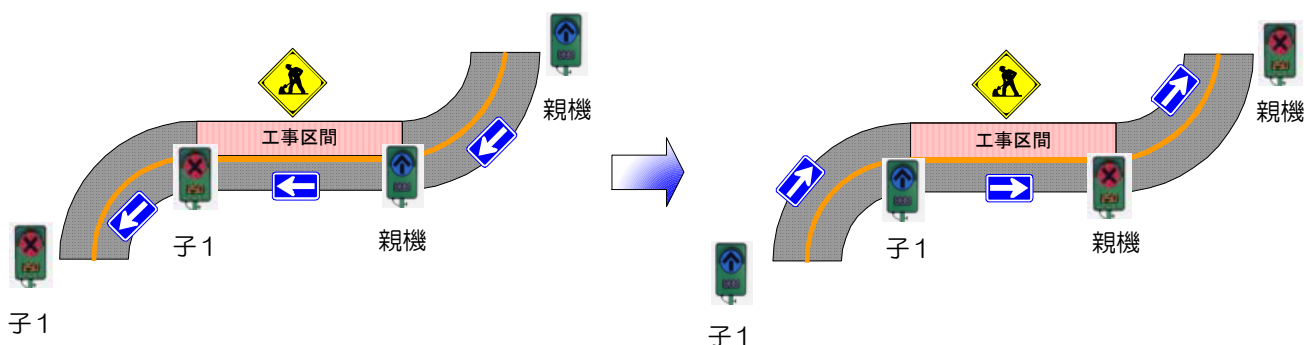


④子1に設定

- 規制の変化

①親機『青』子1機『赤』

②親機『赤』子1機『青』



GPS同期なので時間のズレなく2台の親機は『青』表示。同様に2台の子1機は『赤』表示

GPS同期なので時間のズレなく2台の親機は『赤』表示。同様に2台の子1機は『青』表示



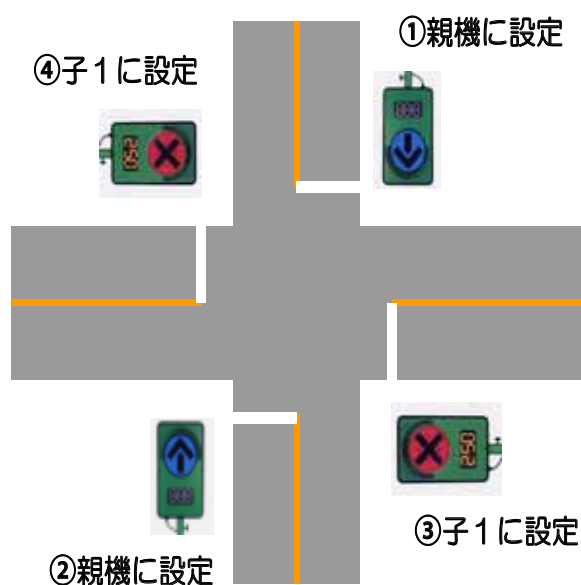
《ご注意》
手前の信号機には『予告灯』などの看板を設置してください。通行車両が手前の信号機から工事区間と勘違いする可能性があります。

GPSソーラー式信号機の応用使用例

その2 通常の交差点信号機

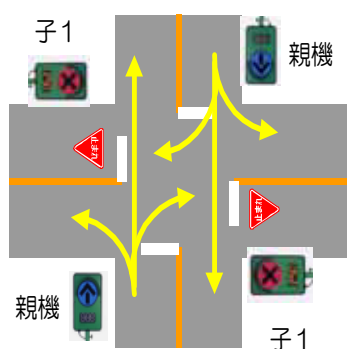
交差点で工事区間が無い場合、通常の交通信号機と同じ動作が出来ます。

- パターン番号 交互通行用1~40番を使用し、全て同じ番号に設定
- 信号機の配置と設定

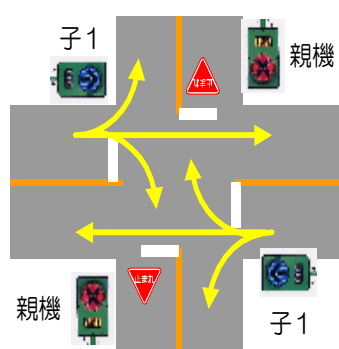


- 規制の変化

①親機『青』子1機『赤』



②親機『赤』子1機『青』



GPS同期なので時間のズレなく2台の親機は『青』表示。同様に2台の子1機は『赤』表示。縦の通りは対面通行、横の通りは止まれになります。

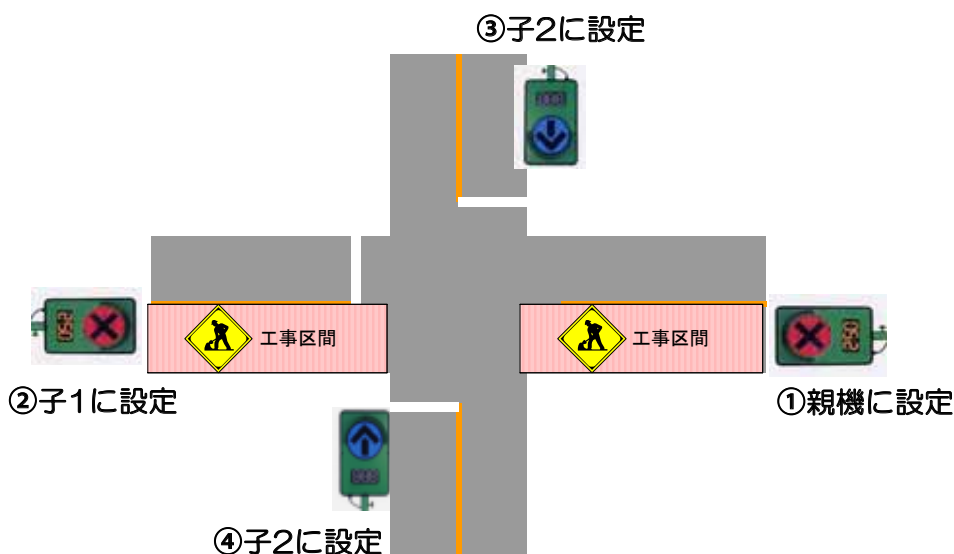
GPS同期なので時間のズレなく2台の親機は『赤』表示。同様に2台の子1機は『青』表示。縦の通りは止まれ、横の通りは対面通行になります。

GPSソーラー式信号機の応用使用例

その3 三叉路設定使用の応用例

本機の三叉路設定は、3台の信号機が順番に『青』になる動作ですが、これを応用すると、交差点付近の工事や工事区間内のわき道などに使用できます。

- パターン番号 三叉路用51～93番を使用し、全て同じ番号に設定
- 信号機の配置と設定

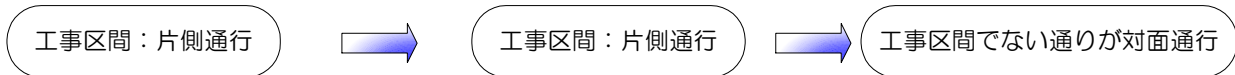
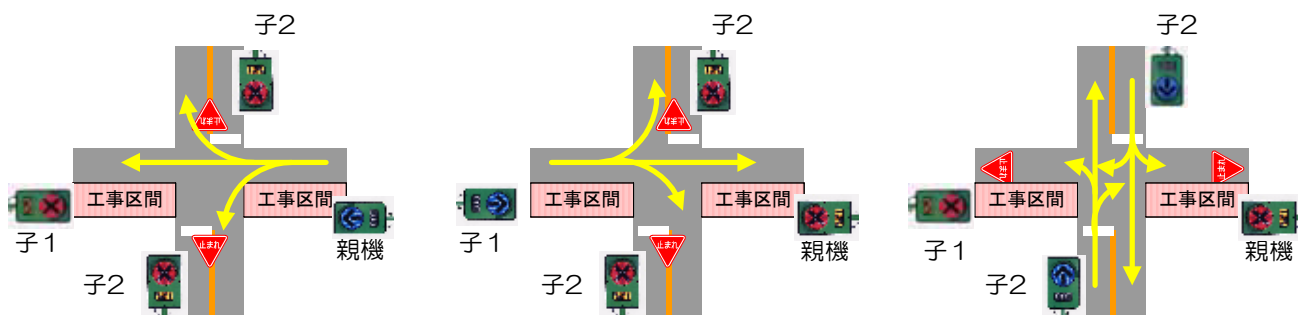


● 規制の変化

①親機『青』子1機『赤』
子2機『赤』

②親機『赤』子1機『青』
子2機『赤』

③親機『赤』子1機『赤』
子2機『青』



《ご注意》
この場合の子機2信号機は、工事中で工事用信号機が置いてあるため、通行車両は交互通行で対向車両が来ないものと勘違いする可能性があります。『対面通行』と認識ができる看板等で予告して下さい。